

岩国総局 ☎0820(21)6780 FAX(21)7745
 柳井支局 ☎0820(22)0247 FAX(24)0012
 玖珂支局 ☎0820(84)0256 FAX(83)0001
 大島支局 ☎0820(72)0212 FAX(79)0005

ルカフエ

部が「開店」

部で、喫茶室は接客や手作りジャムに向けた授業 (堀晋也)



ジャム手作り 月1、2回接客

カフェの広さは約80平方メートル。町特産のイチジクやミカンで生徒が作ったジャムを手作りケーキに添え、飲み物とセットで200円で販売。ジャムは瓶詰めにして店内に飾る。初日の昨年12月16日は11人が来店。生徒は元気に迎え、商品説明するなどして、もてなしていた。

生徒が地域住民と触れ合う機会を増やし就業支援を強めようと、同校高等部が昨年9月に町内の山あいから移転してきた際にプレオープン。以降、調理学校の教諭たちを講師に招き、接客サービスなどを学んで本格オープンした。

1年谷本成輝さん(16)は「笑顔と声のトーンに気を付けて、よりよい接客を目指す」。2年神本彩乃さん(17)は「何度も足を運んでもらえる場所にした」と意気込む。来店した防府市東三田尻のスポーツインストラクター杉本瑛美さん(32)は「デザートも内装もかわいくて良いお店」と喜んでいった。

新型コロナウイルス対策で客数を制限するため、前日までの予約が必要。本年度内は2月5、24日の営業を予定している。高等部 ☎0820(51)2112。



出版した本を持つビジャモールさん

を受け、県立大に留学していた時のノートを読み返した。源平合戦の壇ノ浦の戦いなど、当時学んだ山口の歴史も細かく記した。「山口についてこんなに読み応えがあるスペイン語の本はなかなかないですよ」と胸を張る。

スペイン北部のビルバオ市出身。平仮名や漢字など複数の文字が入り交じる日本語に興味を持ち、20歳から独学で学び続ける。12年に県立大へ留学した。山口市の仕事に通勤として

五輪PR「金魚」は藍色



大会エンブレムをあしらった藍色の金魚ちょうちん

公式商品 柳井の文具店製作

藍色の金魚ちょうちんが登場。柳井市の民芸品金魚ちょうちんを東京五輪・パラリンピックのエンブレムと同じ色に塗った公式ライセンス商品が発売された。地元の文具店木阪賞文堂が製作を担っている。

通常赤の金魚ちょうちん(全長50センチ、直径18センチ)を藍色にし、白インクで大会エンブレムをあしらった。目のふちやひれをメダルと同じ金色で目立たせた。エンブレムをはっきり記すため、和紙の裏側から色付けするなど工夫を凝らした。地元職人の協力も得てすべ

て手作りだ。東京五輪・パラリンピック組織委員会は、日本各地の伝統工芸品などを公式ライセンス商品として承認し、2019年3月から順次発売しており、県内の承認は初めて。聖火ランナーにも選ばれている同店主の木阪泰之さん(58)は「大会を盛り上げつつ、地元の民芸品をもっと知ってほしい」と話す。

1個5500円。大会の公式オンラインショップと同店で注文できるが、受注生産で1カ月半から2カ月程度かかるという。

(堀晋也)

園工「牛」生き生き

下松で園児の作品展



作った牛の園工作品を見る親子連れ

幕末—昭 山口の音 資料

楽器や楽譜を末から昭和前期山口市の音楽文庫企画展が、同

【岩国】岩国市内科 12時～19時
 会病院救急センター 11時～19時
 水島眼科(21) 柳井市・熊療所(22) 9
 安本医院(73) 安本支局(73)
 【周南】慶万町 休日夜間(32) 229
 孝田町、周南問合も急病センター(65) 0
 今宿3丁目、休(32) 171
 小川クリニック(32) 171
 【山口中・西】(地域名は医) 17時半～17時 病院(922) 17時半
 科系8時半～17時 町、丘病院(91) 0
 小児科系8時半～17時 町、あゆかクリニック(924) 19
 内科・外科系19時～13時 系9時～13時 日夜間急病診療 2266 小児科 19時～22時 18時 ども急病センター 80255
 【阿東地区】 8時半～17時半 中、藤原医院(31) 31
 【吉南】内科 山口市小郡新町 内科(973) 1科系9時～18時 1トクリニックス 8) 33333 8) 33333 時 同市鑄銭司、(6) 2177